



奈良東ロータリークラブ 会報

Nara East Rotary Weekly Bulletin



2016-17 RI テーマ

通算 1217 回(本年度第 4 回)
7 月 27 日 本日のプログラム

年間計画発表(4)

本日のソング: 我らの生業

“夢を語り、^{いま}現在を刷新”
Review from the future and Renew

2016-17 地区スローガン

会 長	中 村 栄 一	創 立	1990 年 9 月 12 日	事務局	〒630-8115
副 会 長	梶 本 真 也	例 会 日	毎週水曜日 18:00~		奈良市大宮町 2-1-1-205
幹 事	谷 口 宗 彦	例 会 場	ホテル日航奈良		TEL 0742-30-5511
会場監督	喜 多 永 治		TEL 0742-35-8831		FAX 0742-30-5512

出席報告

7 月 6 日 第 1214 回修正

会員数	38 人
出席免除者数	17 人
出席義務者数	34 人
欠席者数	8 人
出席者数	30 人
補填者数	2 人
修正出席者数	32 人
出席率	94.12%

ニコニコ報告

中村栄一会長 委員会発表よろしくお願いします。

谷口宗彦君 北山先生、先週はご馳走様でした。

倉本堯慧君 今週は、昨日奈良大宮、明日は奈良 RC のガバナー訪問、そして 23, 24 は当山恒例の子安地藏会式と多忙な一週間です。

北山勘解由君、前田武君、清水弘志君、西田正秀君、野崎充亮君
梅雨明け、猛暑続きます。自愛を。

黒田有紀君 クラブの損益分岐点は 40 人です。会員増強が最重要課題です。

伊東月臣君 本日、社会奉仕委員会の発表です。よろしくお願いします。

服部彰夫君 委員会発表よろしくお願いします。

前田隆一君 本日も多額のニコニコありがとうございました。

幹事報告

- ・来る10月22日開催のインターシティーミーティングのロータリーフォーラムに、当クラブを代表して服部彰夫会員が討論者として登壇されます。全会員で服部会員の勇姿を見に行きましょう。
- ・国際ロータリー第2650地区2018-19年度ガバナーに、あすかロータリークラブ会員の中川基成(なか がわ もとなり)君が決定しました。
- ・第28回第2650地区刀根荘兵衛ガバナー杯野球大会が、平成28年11月5日(土)に滋賀県希望ヶ丘文化公園スポーツゾーン内野球場・多目的グラウンドにて開催されます。参加締切が平成28年8月24日

(水)です。参加されるかどうかを野球同好会にて決めてください。

**委員会報告**

●会員増強・会員選考・職業分類委員会

野崎充亮君

本日、例会後に第1回委員会を開催いたします。会長・幹事・会員組織常任委員長、各委員の皆様はご参加をよろしくお願いします。



 例会報告

【年間計画発表(3)】

●奉仕プロジェクト常任委員長 服部彰夫君



奉仕プロジェクト委員会は職業奉仕、社会奉仕、環境保全、青少年奉仕、国際奉仕の委員会から成っています。

ロータリークラブはいろいろな職業を持った人々の集まりでそこでロータリーの精神と、職業人としての奉仕の心、リーダーシップを青み生涯にわたり友情を培うところです。

ロータリーの原点は親睦をとうしての奉仕です。奈良東ロータリークラブでは今まで数多くの価値ある奉仕活動をやってまいりましたが、今一度 25 周年記念事業も終わり今までの奉仕活動を見直し、改めるものは改め、継続するものは精度を上げ身の丈に合った奉仕活動をする事だと思います。

限りある資金と会員の知識や経験をし、かし委員会が情報を共有し地域社会のニーズに沿った活動をする事だと思います。

今当クラブは資金的に非常に苦しく奉仕活動の予算はニコニコしていただいた金額が原資になります。

奉仕活動はニコニコと連動していますので奉仕プロジェクトの方からもニコニコをよろしくお願い致します。

これからは各々が知識と経験による「汗を流してする奉仕活動」が重要になって来ると思います。

一年間、皆様のご協力、よろしくお願いします。

●社会奉仕委員会 伊東月臣君



今年度の RI 会長のテーマは(人類に奉仕するロータリー)でございます。奉仕はロータリーの永遠のテーマであり、ロータリー活動を端的に表現していると思います。中村会長は、出来るならば、社会的弱者といわれる皆さんに少しでもお役に立てる事業を考えて頂きたいと申されました。当委員会と致しまして、ロータリーが推奨する社会奉仕の原点に戻り、地域社会が必要している奉仕を探り、会員全員参加で社会奉仕活動を積極的に行います。

献血運動ですが、真夏に血液が大変不足しており、大きな成果を上げていると評価されております。献血場所設定の都合により10月頃開催予定です。例年以上のご協力をお願いいたします。

交通安全市民決起大会への参加ですが、子供と高齢者の交通事故防止、飲酒運転の根絶を目指して、本年度も秋、春共参加しますので、多数のご参加をお願いいたします。

高齢者、障害者等の福祉施設の慰問及びイベント等への参加ですが、地域社会が必要している所謂社会的弱者に対する社会奉仕を計画中ですが、決定しましたら会員全員参加で奉仕活動を行いたいと思っていますので、ご協力宜しくお願い致します。

●青少年奉仕委員会 萩原隆夫君



次世代を担う青少年の模範となるように、常に行動し、青少年の将来のために何が出来るかを考え、青少年と対話する機会を創る場を構築します。

去る7月6日に第1回青少年奉仕委員会を開催し、委員全員が参加しました。

- ・RYLA に参加する青年を公募する
- ・奈良東 RC 杯少年野球大会を主催する
- ・奉仕プロジェクト委員会をサポート参加する
- ・地区研修会等で提案された事案を審議する
- ・青少年月間で卓話もしくは発表会をする

一年間、皆様のご協力、よろしくお願いします。

●国際奉仕委員会 中東弘京君



刀根ガバナーは、RC活動が次第に人道的なボランティア活動を求められるようになってきていると述べています。私達もRCは奉仕団体ではなく、奉仕する人の団体、奉仕をする人を育てる団体であることを自覚し、世界理解と世界平和に貢献していかなければなりません。

本年度 2650 地区では、ラオスでポリオ撲滅活動を含むミッションが計画されています。その活動に協力するとともに、米山奨学会、奨学生を支援し、その国の生活習慣を学び、その国を知ることにより国際奉仕活動に関心を持ち、理解を促します。

友好2クラブ(韓国釜山沙下RC・福島県郡山東RC)への訪問を通じ、会員相互の交流促進を図ります。

一年間、皆様のご協力、よろしくお願いします。

●戦略委員会 中村栄一君



私たちのクラブが将来も強く活気のあるクラブ組織であり続けるために、ビジョンを話し合い、そして、その実現のために向けた実行項目を具体的に上げてゆく。

まずは、会員増強、会費(年会費)値上げ、例会出席の状況、プロジェクト事業等クラブの現状をつかむと同時に情報集会にて会員の意見を聞く。そして会員の意見を反映しつつクラブの5年先、10年先を見据えて行く。

一年間、皆様のご協力、よろしくお願いします。

●プログラム委員会 泉谷良宏君



今年度プログラム委員長を仰せつかりました泉谷です。どうぞ1年間宜しくお願いします。委員会メンバーは副委員長に稲田さん、委員として岩本さん、北山さん、前田さんです。

まず、ロータリーの原点は例会に参加することだと思います。例会は奉仕の理想を探求するために会員同士が切磋琢磨し、自己研鑽しながら会員同士の親睦を図る場であります。まさにロータリーの根幹をなす場が例会であると考えています。

例会の50%の時間を費やす卓話の時間を、いかに活用していくかを考えたときに、重要な委員会を任されたなと実感しております。

プログラムに関してはご存じの通り、プログラム強調月間というものがございまして。今年度はここ数年、米山月間を除いて行われておりませんでしたこの強調月間を復活させ、各委員会に卓話の時間を運営して頂こうと考えております。

強調月間ですが、まず8月は会員増強月間、10月が米山月間、11月が財団月間、1月が職業奉仕、2月が国際奉仕、3月が水と衛生月間です。これは過去にございませでしたが、環境保全委員会にご担当頂きます。最後に5月に青少年奉仕月間ということで、都度7つの強調月間を各委員会でご担当頂きます。

少子高齢化、福祉などの時事や社会問題などを卓話のテーマとして取りあげ、勉強の場としたいと考えています。さらに会員卓話についても積極的にお話しくことで、会員同士の理解の一助となればと考えています。その他には地区出向者に報告して頂く機会を設けたいと考えています。

年間を通じて、楽しく充実した例会運営を目指したいと思います。

一年間、皆様のご協力、よろしくお願いします。

国際会長の略歴と7月のメッセージ



ジョン F. ジャーム
 2016-17 年度会長
 CHATANOOGA ロータリークラブ所属
 米国テネシー州

●略歴

ジョン F. ジャーム氏は、米国空軍に4年間在籍した後、1965年に、エンジニアリングのコンサルティング会社であるChambell and Associatesに入社。現在は、同社の取締役会長です。また、Public Education FoundationとOrange Grove Center社の理事兼執行委員、Blood Assurance社の会長など、複数の団体の理事を務めています。さらに、Chattanooga State Technical Community College財団の創設者・財務長ならびにTennessee Jaycee財団の会長も務めています。

1970年にテネシー州のヤングマン・オブ・ザ・イヤー、1986年にエンジニア・オブ・ザ・イヤー、1992年にボランティア・ファンドレイザー・オブ・ザ・イヤーを受賞しました。さらに、ボーイスカウトのシルバービーバー賞、関節炎財団のサークル・オブ・ホープ賞にも輝きました。2013年に、米国政府からチャンピオン・オブ・チェンジの表彰も受けています。

1976年にロータリーに入会以来、副会長、理事、財団管理委員、副管理委員長、財団管理委員長エイド、ロータリーの2億ドルのチャレンジ委員長、RI理事会執行委員会委員、RI会長エイド、規定審議会代表議員および議長、会員増強ゾーンコーディネーター、その他多くの委員会の委員長、エリアコーディネーター、RI研修リーダー、地区ガバナーを歴任しました。

RI超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状、特別功労賞を受賞。ジュディ夫人とともにベネファクター、アーチ・クラフ・ソサエティ会員となっています。ご夫妻には4人の子ども、6人のお孫さんがいます。

●7月のメッセージ

今日、私たちが迎えようとしている新年度は、いつの日か最大の偉業を成し遂げた年としてロータリーの

歴史に刻まれるかもしれません。それは、世界で最後のポリオ症例が確認された年です。2015年には天然ポリオウィルスによるポリオ発症例はわずか74件にとどまり、すべてアフガニスタンとパキスタンで確認されています。私たちはポリオ撲滅という目標に向けて懸命な活動を続けつつ、さらにその先を見据えなければなりません。つまり、この成功を活かしてさらに大きな目標の達成に向けて準備をするのです。

ロータリーの将来にとって、ポリオ撲滅におけるロータリーの役割が広く認知されることはきわめて重要です。私たちが成し遂げたことを知ってもらうことで、パートナーや資金を集めること、さらには会員を惹きつけることができるようになり、より大きな目標を達成することができるようになります。RI本部ではそのようなロータリーの功績について認知度を高めるため日々努力していますが、本部だけでは成しえませんが、皆さんにも、クラブを通じて地域社会でロータリーとは何か、どんなことをしている団体なのかを広く伝えていただく必要があります。各ロータリークラブが、ポリオがついに撲滅される瞬間に立ち会う準備ができていることを確かめる必要があるのです。なぜなら、よいことをしたいと考えた人びとがロータリーこそ世界を変えることができる場所だと思った時に、どのロータリークラブでもその機会を提供する準備が整っていることが必要だからです。

今後数年間でさらに「人類に奉仕するロータリー」を実現するには、自ら進んで奉仕活動に参加し、いたわりの心と聡明な頭脳を持った多くの人が参加して活動を進めていく必要があります。私たちが求めているのは、ロータリーの奉仕活動を若い会員や引退したばかりの人びと、さらに在職中の人びとにもアピールするような、柔軟なクラブです。新たなパートナーシップを求め、門戸を開いて他の団体と連携関係を結ぶことが必要です。

将来を見据え、リーダーシップの継続性についても優先順位を明確にしなければなりません。ロータリーの一員である私たちは皆、同じチームとして同じ目標に向かって努力しています。一緒に目標を達成するには、共に同じ方向へと進まなければなりません。

ロータリーで奉仕する毎日には、人びとの生活を変える機会が与えられています。皆さんの行動一つひとつが重要な意味を持ちます。一つひとつの「よいこと」が私たち全員にとってよりよい世界を作るのです。ロータリーでは新たな年度を迎えるにあたり、「人類に奉仕するロータリー」を通じて世界をよりよい方向へ変える新しいチャンスが私たち全員に与えられています。